

## ワークシート③-2 UDの対象

下線にあてはまる語を書きましょう。

名前 \_\_\_\_\_

### 肢体不自由の UD

肢体不自由は身体障がい者の \_\_\_%を占めている。

\_\_\_\_\_を排除して全く新しいデザインを考えることが UD に配慮したものを作ることにつながる。例えばボールペンは手で使用することのみを考えるが、それだけではなく口や足で使うことまで考えなければいけない。

足の障がいを持つ人に対する工夫として、\_\_\_\_\_で段差をなくすことやトイレのスペースを大きくとり、\_\_\_\_\_を設置するなどがある。これらの工夫は健常者にとっても有効であり、\_\_\_\_\_ことを目指す UD の一つであるといえる。

### 視覚の UD

回復困難な視力低下などの資格に関する障がいを \_\_\_\_\_ という。全く物が見えないことを \_\_\_\_\_、矯正視力が 0.03 以下のことを \_\_\_\_\_ という。視覚障がい者は外出時に \_\_\_\_\_ などの \_\_\_\_\_ を連れて歩くことが定められている。

視覚の UD として \_\_\_\_\_ にあるきざみが有名。もともとは視覚障がい者に対してレンズとの区別をつけられるようにするためのものであったが、健常者からも支持され、現在ではほとんどのボトルにきざみがある。

日本人の約 \_\_\_%の人々は一般の人が感じていると違う色覚を持つ \_\_\_\_\_ である。これら少数派の色弱者に対する UD として \_\_\_\_\_ という、色覚に関する UD がある。これは \_\_\_\_\_ が認識しにくい色を極力使わないことや、見分けのつきやすい掲示をすることが主だ。

### 聴覚の UD

聴覚障がい者に対する配慮として、音声、点字、パネルなど \_\_\_\_\_、 \_\_\_\_\_ を利用した工夫がある。聴覚障がい者ではなくても、例えば駅では混雑時にアナウンスが聞き取りにくいことがある。その際は電光掲示板という \_\_\_\_\_ な手段で情報を伝えることが可能だ。救急車もサイレンの音だけではなく赤いランプでも事態を知らせてくれる。聴覚に対しての UD は視覚、触角を利用した手段で解決されている。しかし、耳も目も衰えた \_\_\_\_\_ などには完全に対応できない。UD は \_\_\_\_\_ ことを保証するものではない。